

---

# 私の心の場所

D E G

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

私の心の場所

### 【Zコード】

Z6241E

### 【作者名】

DEG

### 【あらすじ】

長い碧い髪の、薄幸の女性をイメージしながら「見いただくと、雰囲気がでるかもしません。この世界にいる人を見ているのを想像してください。

## 私の『心の場所』

碧くて、暗くて、誰もいない

いるのは私だけ

あるのは、私の後ろにある、黒い葉のない木

遠く遠く、黒くて、ほんやつと見える山のような陰

私の世界の周りは、碧くて、暗く透き通った湖

それが、どこまでもどこまでも広くて、私は木の元から動けない、  
動く気もない

そこから、あの遠く遠くの山の陰の上を見上げる

空せよまつ、こぼれて、湖よつゝく

やうなほどの小さな丸い丘がある

ふと、それを見て私は希望を思い出す

それは小さな希望の光

そしてまた、無限の湖に田をやる

この湖はこの陰しか映れない

私は希望の刃にほとんどのつづりがされている

私の髪の色は、やはり碧く、暗い色

けれど月明かりの下でそれは優しく照らし圧される

私の顔は喜んでいない

私の顔は悲しんでもいない

私の顔は何を思っているのか、自分でもわからない

黒い木の下に腰掛ける私の視線は、湖を見つめる

けれど見つめているものは湖ではなく

心の中の、大切な想い

懐かしくて優しい、私を私でいさせてくれる、大切な人の想い

それをずうつと見つめて

そしてまた、碧くて暗い世界の上を見上げる

小さな希望の明かり

それだけが私を、見つめているもの

今、私の顔は穏やかに笑っている

私はきっと大切な人の、大切な想いを見つめ続ける

この心の世界に、大切な人と一緒にいられるようになるまで……

(後書き)

私の心の場所を字で表してみました。絵で描いたものをイメージしています。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6241e/>

---

私の心の場所

2010年10月8日22時27分発行